

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度北部九州流域情報管理方策検討業務
業 務 概 要	プロポーザル方式（技術提案簡素化型） ・防災情報共有手法の設定 1式 ・防災情報共有手法に関するガイドライン作成 1式 ・周知資料作成 1式 ・浸水状況広域監視手法の検討 1式 ・検討会の開催および運営等 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 7 年 3 月 1 9 日
契 約 業 者 名	（一社）北部九州河川利用協会
契 約 業 者 の 住 所	福岡県久留米市宮ノ陣3-8-8
契 約 金 額	19,657,000円（税込み）
予 定 価 格	19,690,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 7 年 3 月 2 0 日
履 行 期 間（至）	令和 7 年 1 2 月 1 9 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度北部九州流域情報管理方策検討業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住 所：福岡県久留米市宮ノ陣三丁目8番8号
会社名：一般社団法人北部九州河川利用協会
電 話：0942-34-6733
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、筑後川流域で過年度に実施した浸水監視及び防災情報共有の試行結果を基に、防災情報共有手法の設定及び、同手法に関するガイドラインを作成するほか、住民避難に資する浸水状況の広域的監視手法の検討を行うものである。

2) 業務の内容

・計画準備	1式
・資料収集整理	1式
・防災情報共有手法の設定	1式
・防災情報共有手法に関するガイドライン作成	1式
・周知資料作成	1式
・浸水状況広域監視手法の検討	1式
・検討会の開催及び運営等	1式
・報告書作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び浸水状況広域監視手法の検討に係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、及び評価テーマの「浸水状況広域監視手法の検討における留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 水災害予報センター長